

みやこ

地域と歩むコミュニケーション紙

地域づくり通信

Vol. 25

2023 春号



3年ぶりの開催となった閉伊川川下り大会 2022

主な内容

- ・ 地域の話題
- ・ 田老地域バス運行開始
- ・ 地域創造基金事業紹介
- ・ イベントカレンダー



一斉にスタートする選手たち

発行：宮古・田老・新里・川井地域づくり協議会



川井

11チャンネルは、おらほのテレビ

川井地域では、山々が深くほほ全域難視聴地域のため川井(ケーブル)テレビを利用して、そして「11チャンネル」は、木の博物館や天気予報、みやこハーバーラジオ(声のみ)を視聴することができます。

コロナ禍で集会の開催が難しくなった令和2年から介護予防を目的に「シルバーハリビリ体操」20分バージョンを自宅でもできるよう放映しています。宮古市介護保険課・シルリハおらんど宮古の会の有志の方々の協力により、川井地区サロン連絡会が制作し提供しました。

現在は1日4回(内容が全部違います)放映し、集会所での集まりにも利用されています。今日も、どこかで誰かが11チャンネル「川井のみなさん、体操の時間ですよー!」に合わせて、いっ、いっ、さん……。

川井地域づくり協議会広報編集委員

引屋敷 千春



田老

地域愛から生まれた「宮古市民」

田老地域には「看板家族」がいるのをご存知でしょうか。国道45号線沿い、はなや蕎麦たろうさんの隣にひとときわ目を引くカカシ達がいま。サッカーワールドカップのときは日本代表と対戦相手のユニフォーム、新年には七福神、二月になると節分の鬼(恵方巻を食べている!)に変身。季節や行事に合わせて姿を変えるのが面白く、「やはり、そうきたか」と納得したり、「これは意外だった」と驚いたり、前を通る度に私も笑顔にさせられます。

カカシ達の生みの親、小林徳光さんに設置の意図を伺ったところ「人が少なくなっているから、増やしたくて」と教えてくださいました。なるほど、彼らは地域課題と小林さんの地域愛から生まれた「宮古市民」だったんですね。

しかしながら、彼らの本業はあくまでもカカシ。冬の間は大人数で国道沿いにはいますが、温かくなると畑に戻ること。これからも畑の平和を守りながら、人々を笑顔にしていきたいです。

田老地域づくり協議会広報編集委員

加藤 洋一郎



新里

新里地域のエネルギー地産地消実現 お披露目会開催

発電事業者が太陽光パネルと蓄電池を設置し、発電された電気をその施設で消費する仕組み(PPA)が新里総合事務所でも始まりました。また、市公用車として初めての電気自動車「日産サクラ」を導入し、2月14日(火)に新里総合事務所でお披露目会を開催しました。

市が推進する再生可能エネルギーの地産地消の一環で、公共施設におけるPPA導入は県内初となります。

お披露目会では発電事業の関係者、日産自動車の社員、環境省職員、地区の代表者らが集まる中、テープカットやサクラの試乗などが行われました。

通常時は太陽光パネルで発電した電気を総合事務所消費しながら蓄電池へ充電が行われ、災害等による停電が発生したときは、蓄電池から電力が供給されます。また、サクラからの電力供給も想定しています。

新里総合事務所は宮古消防署新里分署が併設され、隣接する福祉センターは避難所となるなど災害時の拠点施設であることから、この度の整備により防災機能が大きく向上しました。

新里地域づくり協議会広報編集委員

巖岩 宗生



宮古

子ども・若者向けフリースペース 「みやっこハウス」リニューアルオープン

令和5年2月、末広町花の木通りに子ども・若者向けのフリースペース「みやっこハウス」がリニューアルオープンしました。

みやっこハウスは平成26年に開設され、バス待ちや学習・交流の場として若者に活用されてきましたが、ここ数年はコロナ禍や施設の老朽化に伴い、利用が停滞していました。

そこで、昨年9月から改装工事を実施。1階は明るくカラフルな空間に様変わりしました。

運営するNPO法人みやっこベースは、宮古の子どもたち一人一人が希望と意志を持ち、未来を切り拓いていけるよう子ども・若者向けの支援をしています。フリースペース運営を通して、子どもたちの居場所づくりや地域に関わるきっかけづくりにつながることを期待しています。

宮古地域づくり協議会広報編集委員

八島 彩香

田老地域バス 「たろちゃんバス」 運行開始！



地域公共交通の拡充に向けて

令和4年12月1日、田老地域バス「たろちゃんバス」が運行を開始しました。これまで、通院専用だった患者バスを、誰でも利用できる地域バスに転換しました。
運行は、樫内線・青倉末前線・小堀内線・三本木線・畑俣待線の5路線に分かれ、すべての路線が新田老駅・道の駅たろう・田老診療所に停車します。



田老地域バス「たろちゃんバス」



愛称「たろちゃんバス」を提案した田老一小の児童



セレモニーでのテープカットの様子



田老地域バス
たろちゃんバス

宮古

命名者の田老一小の児童が初の乗客となりました

- 運賃 *診療所を受診する方は無料です。
大人…………… 100円
小児・障がい者等…………… 50円
未就学児…………… 無料
- 回数券 *回数券は12枚綴りです。
大人…………… 1,000円
小児・障がい者等…………… 500円
*回数券は、田老総合事務所にて販売しています。

みんなの力で地域を創る

地域創造基金を活用して実施された事業を紹介します。



宮古 ウェルカムフラワーが迎える街並み創出事業

昭和通りのおかみさんもてなしたい

■期間 令和4年4月～11月

■場所 宮古駅前広場、津軽石小学校、宮古小学校など

宮古小学校、津軽石小学校、宮古第一中学校の皆さん、ボランティアの皆さんとハンギングバスケットを作成し、宮古駅ホーム、駅前広場、商店街、浄土ヶ浜に飾り、花の街を目指しています。

津軽石小学校の3年生とは、今年度初めて一緒に取り組みました。完成したハンギングバスケットはどれも素晴らしい出来栄で、地区の商店や駐在所、郵便局に飾っていただきました。子どもたちが寄せ植えた苗は、綺麗なたくさんの花を咲かせていました。



宮古 第57回「音楽の夕べ」

宮古市で交響曲を演奏する会

■開催日 令和4年7月31日(日)

■場所 宮古市民文化会館大ホール

地域創造基金を活用し、第57回「音楽の夕べ」を無事開催できました。

東京カウンバグス弦楽合奏団とシュテルンストリングアンサンブル、宮古ジュニア弦楽合奏団 OG の賛助を得て、弦楽合奏の最大の魅力であるハーモニーの美しさを奏でることができました。

今後も地域に根ざした活動を推進していきたいと思います。



宮古 津軽石にぎわい事業

津軽石駅にぎわいクラブ

■期間 通年

■場所 津軽石駅

令和元年3月の三陸鉄道久慈駅～盛駅間開通を機に、駅舎を借り受け、周辺の清掃や環境整備を行っています。女性会員18名が、2班編制で月4回、花壇の整備や駅待合室・ホームの清掃をしています。待合室には季節の花を飾り、地域住民の憩いの場となっています。

また、布で作った新巻き鮭やひな人形の展示、絵画展・縁日イベントの企画もしております。



宮古 津軽石郷土芸能保存育成事業

津軽石郷土芸能団体協議会

■開催日 令和4年12月4日(日)

■場所 津軽石小学校 体育館

「第5回津軽石郷土芸能祭」を開催し、各団体が練習の成果を披露しました。栄通り太鼓保存会の中学生、高校生は、津軽石に伝わる「又兵衛伝説」に合わせた演奏・演出を初披露。お客様から大きな拍手が湧きました。

新型コロナウイルス感染症の減少にともない、各団体における活動も少しずつ活発になっています。今年度は、津軽石小学校の5年生に、地域の民族芸能の由来、時代背景について出前授業を行うことができました。

今後も、地域の宝としての青少年健全育成に努めてまいります。



- 期間 令和4年12月～令和5年2月
- 場所 うみどり公園前歩道橋

市民の皆様から「楽しみにしている」という声を多くいただいているうみどり公園前歩道橋のイルミネーションは、今年で11回目を迎えました。

12月17日に25名で設置作業を行い、その日の夜から点灯を開始しました。

この事業は「復興する宮古のシンボルになれば」と始めたものです。楽しんでいただけたでしょうか。



田老 道の駅たろう元祖サッパ市

道の駅たろう連絡協議会

- 期間 令和4年5月～令和5年2月
- 場所 道の駅たろう

今年度は7月と9月に「元祖サッパ市」を、5月と2月に「ミニサッパ市」を行いました。

元祖サッパ市では、7月は「ウニ」をテーマにウニのお振舞いや販売を実施。9月は旬な海産物、農産物、キノコ類の販売をしました。また、両月とも郷土芸能を招き演舞していただきました。

ミニサッパ市では、5月は四国、2月は本州四端の県外の他市町村の物産を取り寄せ、地元の販売促進フェアを開催しました。

また元祖サッパ市、ミニサッパ市ともに複数のキッチンカーが出店し、賑わいのあるイベントになりました。

今後も道の駅たろうの魅力を発信するため、事業継続し、田老地域の復興に繋げていきます。



田老 おらほの夏まつり2022

WARADUKA

- 開催日 令和4年8月14日(日)
- 場所 田老漁港・道の駅たろう

当初開催予定だった13日は台風の影響が予想され、翌14日に延期しました。地域に住む皆様や各事業所から、協賛金を頂戴し、約800発の花火上げることが出来ました。

道の駅たろうには、祭りムードを盛り上げる模擬店を出店。地域住民の交流の場となりました。



田老 田老地区復興まちづくり協議会活動推進事業

宮古市田老地区復興まちづくり協議会

- 開催日 令和4年7月～令和5年1月
- 場所 田老地域

国・県が想定を公表した千島海溝・日本海溝を震源とする巨大地震・津波が当地区においても大きくクローズアップされ、防災・減災・安全確保の面から避難についての共通認識を広めるため、話し合いの場を設けています。

また、当地区の人口減少は、予測を大幅に上回るスピードで進んでおり、併せて、高齢化も同様の傾向を見せています。その対策が急務と考えますが、定住人口の維持、増加は至難のことであり、交流人口の増加に焦点を当てた講演会とワークショップを開催し、地域住民の英知の結集を図りたいと思います。



田老 復興たろう大漁まつり

たろう大漁まつり実行委員会

■期 間 令和4年5月22日(日)

■場 所 田老町漁協横のイベント広場・田老漁港

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた「復興たろう大漁まつり」が3年ぶりに開催されました。

神輿の巡行、黒森神楽の演舞、大漁祈願と海上安全を祈願した漁船による曳き船運航、桂枝太郎・松本哲也による「寄席ロック」、小田代直子の威勢の良い歌謡ショーなどが行われ、地域住民が久しぶりのイベントを楽しみました。



新里 閉伊川遊イング事業

閉伊川遊イング事業実行委員会

■開催日 令和4年7月31日(日)、9月13日(日)

■場 所 閉伊川

7月31日(日)、平成18年以来16年ぶりに「第8回閉伊川鮎釣り選手権」を開催しました。朝から汗ばむほどの暑さでしたが、参加した20名の選手はそれぞれのポイントに陣取り、「友釣り」と呼ばれる釣法で競技を開始。5時間で13尾を釣り上げた方が優勝しました。

9月13日(日)、コロナ禍で中止していた「閉伊川川下り大会2022」を3年ぶりに開催しました。コースは腹帯橋から湯ったり館下までの約5.5km。「一般の部」と「団体の部」の2部門に県内外から100名が参加し、見事な秋晴れのもと緩急に富む流れに挑みました。一般の部の優勝は今大会最高齢のペアで、6連覇を達成。「次回7連覇を目指したい」と力強く話していました。

今後も、全国に誇れる清流「閉伊川」を活用したこれらのイベントを開催し、交流人口の拡大と地域の活性化を図っていきます。



新里 新里地区生涯スポーツ推進事業

新里地区生涯スポーツ推進協議会

■期 間 令和4年6月～10月

■場 所 新里生涯学習センターほか

新里地区の皆さんが、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら健康増進、体力向上に取り組めるよう、様々なスポーツ行事を開催しました。

今年度はグラウンド・ゴルフ大会、バドミントン交流大会、スポーツ・レクリエーション祭、ソフトボール大会を開催しました。

3年ぶりで開催したスポーツ・レクリエーション祭には、子どもから高齢者まで多くの方に参加いただきました。ゲームを楽しむとともに、久しぶりに地域の皆さんと交流できたことを喜び合いました。

今後も生涯スポーツを通じて地域内の交流と親睦を深める活動を行っていきます。



川井 小国の宝振興事業

小国地区地域づくり委員会

■期 間 令和4年6月～11月

■場 所 小国地区

小国地区では、コロナ禍においても連帯感の醸成と地域の振興を図るため、分散型で活動を行いました。

内容は、各集落の環境整備活動や史跡である大梵天館遊歩道・案内板等の整備です。

また、旧小国小学校教員住宅を移住定住交流促進施設として活用し、バツカリ広場に体験農園を設け、関連するワークショップなどを行いました。



■期 間 通年

■場 所 川井生涯学習センター

地区住民の「安全で確実」な避難の実施と防災意識の向上を目的として活動をしています。声掛けがなければ避難できない方も多く、作成したマップをもとに声掛けするチームを要援護者ごとに決めました。また、いざというときに慌てないために「救急講習」を受講し、物品だけではなく備えもしています。



川井 森・川自然力活用型かわい地域振興事業

川井大自然交流実行委員会

■開催日 令和4年10月16日(日)

■場 所 岩神山・兜明神岳

川井の自然を活用し、「閉伊川釣り大会」「木の博物館体験コース」「フライフィッシング体験コース」の3つの事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、宮古市区界地内の岩神山・兜明神岳をトレッキングする「木の博物館体験コース」のみの開催となりました。

当日は、宮古市内から19名が参加し、案内人から木や草花について解説してもらいながら、博物館に見立てた川井地区の山々をトレッキングしました。紅葉の見ごろと重なり、参加者は山頂から360度の紅葉を楽しんでいました。



川井 川井郷土芸能祭

川井郷土芸能団体連絡協議会

■開催日 令和4年10月30日(日)

■場 所 川井生涯学習センター

令和元年以来、3年ぶり48回目の開催となり、川井地域から5団体が出演しました。ゲストは、新里地域の「茂市鹿子踊」、川井中学校の「末角笠踊り」でした。川井中学校の皆さんは「総合的な学習の時間」に取り組んだ成果を存分に発揮していました。

当日は、晩秋の穏やかな晴天に恵まれ、市内外から多数の来場者があり、各団体の熱演に盛大な拍手をいただきました。

今回出演して頂いた団体から、「この3年間練習が出来ず、保存会の維持に大変不安を持った」という話があり、川井郷土芸能祭開催の意義を再認識しました。

また、同時開催の「商工祭」では、青空の下で来場者及び出演者が郷土食などを楽しみました。



イベントカレンダー

令和5年度に予定されている地域創造基金を活用したイベントや行事などを紹介します
※事業の中止や日程・場所などが変更になる場合があります

地域	日 程	イベント名(事業名)	開催場所	内 容	主 催
田老	5月21日(日)	復興たろう大漁まつり	田老町漁協 イベント広場及び 田老漁港	大漁祈願の神輿や曳き舟、出店・ ステージイベントなど	たろう大漁まつり 実行委員会
川井	6月11日(日)	閉伊川釣り大会	閉伊川本流・支流 道の駅やまびこ館	イワナやヤマメ等、釣果を3四分 計量 河川の空き缶などゴミ回収が必須	川井大自然交流 実行委員会
新里	6月25日(日)	和井内区文化公演会	和井内ふるさと 会館	高齢者に「歌と民謡と踊りのひと ときを！」をテーマに楽しんでも らう	和井内区
川井	7月2日(日)	木の博物館体験	木の博物館分館	木の博物館の体験等	川井大自然交流 実行委員会

イベントカレンダー

令和5年度に予定されている地域創造基金を活用したイベントや行事などを紹介します
※事業の中止や日程・場所などが変更になる場合があります

地域	日程	イベント名(事業名)	開催場所	内容	主催
川井	7 15日(土)~ 17日(月)	フライフィッシングツアー	川井地域の閉伊川 本流・支流	インストラクターや地元スタッフの指導のもと、フライフィッシングを体験	川井大自然交流 実行委員会
新里	7 30日(日)	第9回閉伊川鮎釣り選手権	閉伊川本流・支流 (刈屋川・小国川)	鮎の友釣りにより釣果を競う大会	閉伊川遊イング事業 実行委員会
宮古	8 6日(日)	第58回「音楽の夕べ」	宮古市民文化会館 大ホール	コンサートの開催	宮古市で交響曲を 演奏する会
宮古	8 11日(金)	僕らの夏祭り	赤前コミュニティ 消防センター前	夏祭りの開催	僕らの夏祭り 実行委員会
田老	8 12日(土)	おらほの夏祭り 2023	田老漁港(花火打ち上げ 道の駅たろう周辺(観覧))	花火大会の開催、露店の出店、 ステージイベントなど	WARADUKA
新里	9 3日(日)	閉伊川川下り大会 2023	閉伊川 (腹帯橋付近~ 湯ったり館下)	2人1組のゴムボートによる川下り 大会	閉伊川遊イング事業 実行委員会
田老	10 8日(日)	第73回田老地区体育大会	田老第一中学校 校庭	田老地域住民の大運動会	田老地区体育大会 実行委員会
川井	10 29日(日)	川井郷土芸能祭	川井生涯学習 センター	川井地域郷土芸能団体の活動 成果発表	川井郷土芸能団体 連絡協議会
宮古	11 5日(日)	鮭の日にぎわいまつり	津軽石駅前	バザーの開催、屋台の出店など	津軽石駅にぎわい クラブ
新里	11 5日(日)	和井内ふるさと収穫祭	和井内ふるさと会館	地域農産品、餅・団子等の販売 十割そば食堂開設、そば打ち体験 ステージイベントなど	和井内区
宮古	12 3日(日)	第6回津軽石郷土芸能祭	津軽石小学校 体育館	津軽石地域に伝わる郷土芸能の 披露	津軽石郷土芸能 団体協議会
田老	5月~2月	道の駅たろう 元祖サッパ市・ ミニサッパ市	道の駅たろう	【元祖サッパ市】 ・サッパ船上で特産品の販売。 ・開催予定月：7月、9月 【ミニサッパ市】 ・他の道の駅と連携した特産品の 販売 ・開催予定月：令和5年5月、 令和6年2月 【タロウィン】 ・地域住民と観光客等の交流 ・開催予定月：10月	道の駅たろう 連絡協議会
宮古	通年	ウェルカムフラワーが 迎える街並み創出事業	宮古駅前ほか	ハンギングバスケットの飾りつけ	昭和通りのおかみさん もてなしたい
新里	通年	新里地区生涯スポーツ 推進事業	新里トレーニング センター、新 里生涯学習セ ンターなど	各種スポーツ大会を開催 ・グラウンド・ゴルフ大会(6月) ・バドミントン交流大会(7月) ・ソフトボール大会(9月) ・スポーツ・レクリエーション祭(10月) ・ビーチボールバレー大会(11月) ・室内グラウンド・ゴルフ大会(12月)	新里地区生涯スポーツ 推進協議会
川井	通年	門馬地域住民等の 送迎サービス	門馬地域内	門馬地域住民の送迎	門馬地域送迎チーム
川井	未定	川井地域大運動会	川井小学校校庭	川井地域住民の大運動会	川井地域大運動会 実行委員会

◆発行/宮古・田老・新里・川井地域づくり協議会
◆編集/地域づくり協議会広報編集委員会
◆発行日/令和5年3月15日

〒027-8501 岩手県宮古市宮町二丁目1番30号 宮古市役所企画部企画課内



宮古市地域創造基金ホームページ
https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/chikisozokikin.html